

## 協働のまちづくり協議会（第1回）議事概要

- 《日 時》 平成30年4月20日（金）9時30分～  
《場 所》 教育委員会 5階会議室  
《委 員》 犬塚 裕雅 会長、坂野 喜隆 副会長、杉浦 利彦 委員、  
長江 曜子 委員、文入 加代子 委員、牧野 昌子 委員、  
江藤 政継 委員、野村 圭子 委員、門 良英 委員  
《傍聴者》 0名

### 1 開会

※欠席者報告・委員会定数確認、配布資料確認

### 2 協働のまちづくり協議会 会長挨拶

### 3 事務局の異動報告

### 4 議 題

#### （1）平成30年度年間スケジュールについて

- ・年間スケジュールについて報告した。

#### （2）平成30年度協働事業提案制度募集要項について

- ・変更点を説明した。

<変更点>

- 労力換算額を千葉県の最新の最低賃金に合わせ、842円から868円に変更した。
- 協働事業負担金の対象経費の文言を変更した。消耗品費の材料費のところに「食材等も含む」という文言を追加した。

- ・委員より以下のとおり意見があった。

委 員 この文言ではお茶菓子程度のみかと思ってしまう可能性があるため、率直に例として「子ども食堂の食材費等」や「材料費等」と記載したらどうか。

事務局 既に配架されている分に関しては相談があった際に口頭で補足説明をして対応し、今後増刷する分に関してはそのように変更する。

#### （3）第2回松戸市協働のまちづくり協議会（平成29年度事業成果報告会）について

- ・以下の事項を確認した。
  - 発表時間は5分、質問時間は8分である。
  - 団体の発表の後、その都度質疑を行う。

- 報告会全体の進行は事務局が行う。
- 講評の公開については、報告会終了後、委員名を伏せた形で団体と担当課へ送付する。
- 会場後方に各発表団体の事業紹介シートを拡大印刷して掲示し、その掲示や発表を基に全参加者を対象にアンケートを記載してもらい、各団体の今後の発展や会場の雰囲気づくりに努める。
- アンケート結果は団体と担当課へ送付する。

・委員より以下のとおり質問及び意見があった。

委員 報告会について市民への情報発信はどのような形で行っているのか。

事務局 松戸市ホームページや、広報まつど、公共施設へのポスター掲示、ツイッター及びフェイスブックなどで周知を行っている。

委員 ケーブルテレビに取材依頼をしてはどうか。

事務局 可能であれば依頼する。

委員 アンケートは、発表団体は自分の前後の団体の発表は必ず聞いてもらって必ず感想を記入するなどしたほうが良い。

#### (4) のまつど地域活躍塾について

- ・第1期まつど地域活躍塾報告書を配布した。
- ・現在第2期の受講生を募集していることや、第1期生に対し、活動状況を把握するためのアンケートを実施予定であることを報告した。
- ・第2期のカリキュラムについて報告した。
- ・塾生募集説明会の参加状況について説明した。
- ・委員より以下のとおり質問及び意見があった。

会長 一期生から実際に活動が始まる兆しはあるのか。

事務局 六実の方で団体を立ち上げて活動を始めようという声がある。また、自分の町会、自治会の運営に加わったりしている方もいる。

会長 気持ちが途絶えないようにするためにも、塾のコーディネーターが塾生に丁寧に寄り添って活動に繋いでいてもらいたい。

委員 講座にて講師を務めたが、塾生の皆さんは本当に一生懸命だった。

実地体験の受け入れ先に、修了後も継続して関わるような事例はあるのか。

事務局 受け入れ先の団体への登録を続け、声がかかったら活動に参加するという方がいる。

委員 塾卒業後に実地体験の受け入れ先の団体にて実際に活動されている方を見かけましたが、とても良い雰囲気、まつど地域活躍塾は成功したのではないかと思います。

委員 塾で得たものをそれぞれの地元に持ち帰るような事業展開や情報発信があると良いと思う。

(5) その他

- ・第3回協働のまちづくり協議会の日程調整をした。
- ・委員より以下のとおり意見があった。

委員 千葉県が推進しているちばコラボ大賞について、自分は委員を務めているのだが、松戸市はなぜ事業を応募しないのか。せっかく良い事業がたくさんあるのもったいないと感じる。

委員 他の市町村の為にも、松戸市の良い事例をどんどん発信して欲しい。県の制度で事業をPRすることで、協働を市内に知らしめることにもつながる。

5 閉会